

9月のねらい及び今月の各クラスの自己評価・自己評価を踏まえての改善点・保護者と地域への子育て支援

月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで友達と一緒に運動遊びを楽しむ。(縄跳び・鬼ごっこ・かけっこ・リズム的な遊び。) ・行事に参加し、みんなでやる気持ちを楽しむ。(運動会参加など。)
-------	---

クラス名	川村 年長児(さくら組)	川村 年中児(うめ組)	川村 年少児(たんぽぽ組)
自己評価	友達と一緒に楽しむことに難しさを感じていた。一緒にやる中で友達に追いつきたいという前向きな気持ちを持つよりも、どうして自分は出来ないのかと後ろ向きな気持ちになる姿も見られた。つまづいている部分とそれを乗り越えるためのポイント、また、一人一人の目標を設定し、挑戦していく中で楽しめる姿が増えていった。	運動会に向けて様々な運動遊びを行った。初めはやり方が分からず、すぐに諦めてしまったり、できないと挑戦せずにいる子の姿も見られた。やり方を知らせたり一緒に取り組む事で、少しずつ自分からやってみようとしその姿が周りの子へも良い刺激になっていた。	運動会練習を通して、バラバラだったものが少しずつまとまっていく感覚が目に見えるようになった。悔しい気持ちや嬉しい気持ち、今日はやりたくないなどという気持ち、諦めない気持ち、負けたくない思い、相手を応援する気持ち、様々な気持ち、感情が育っていき、表現する姿がたくさん見られた。感情をぶつけるだけでなく、次頑張ろうと自分で立ち直ろうとする姿が増えてきた。運動会で精神的な成長を大きく感じることが出来た。
自己評価を踏まえての改善点	出来るように挑戦しようという気持ちを引き続き育てていきたい。負けてしまった時や思い通りにいかない時に他者のせいにしてしまう姿が時折見られる。目標を持ち、達成するための方法を具体的に考える事、また、達成するために葛藤する姿を沢山認め、自信を持って自分と向き合い、挑戦する楽しさを感じられるように援助していきたい。	時に「～くん、ちゃんできるの？」などと否定的な言葉を使う姿も見られた。今その子なりに頑張っている所を知らせていながらクラスで励まし合い、挑戦できるようにしていきたいと思う。	せっかく育ってきたたくさんの感情をつぶしてしまわないように、沢山の事に挑戦できるような、挑戦しやすい環境づくりをしていきたい。また、否定的な言葉が出てきても、一人一人の自信につながるような関わり、声掛け、そして、安心して挑戦できるような見守りを心がけていきたい。
保護者と地域への子育て支援	園生活で上手くいっている事、一方で上手いかななくて葛藤している事、どちらの事に関してもやり取りしやすい環境を整えていきたい。保護者の前向きな気持ちがかども達の力となっているため、その点にも配慮しながらエピソードを発信していきたいと思う。	運動会に向けての遊びを通して、伸びている所や今頑張っている事などをお帳面や口頭、時には面談を行い知らせていった。成長を保護者と共有する事で更に自信に繋がっていた。今後も続けていきたい。	園でうまくいかなかったとき、お家の人の励ましのおかげで明日も頑張ろうと思える、次につなげていくことが出来ているように感じる。お家の人の言葉がそれほど力があり、自信につながっているという事を伝えていきたい。
クラス名	川村 2歳児(すみれ組)	川村 1歳児(ふたば組)	川村 0歳児(つぼみ組)
自己評価	運動会に向けてマット遊びやかけっこ平均台等に取り組み、楽しみながら体を動かす事ができた。運動会の練習を見学することで「やってみよう！」と真似てみようとする姿や、かけっこでも競うと言う気持ちが出てきたように感じる。負けて、転んで悔しい、出来ないことが悔しい・恥ずかしいという気持ちも出てきていた。	日頃のこども達の姿を捉え、無理なく運動会遊びへ繋げていった。保育教諭自身が、楽しそうに体を動かして遊ぶ姿を見せる事で、進んで体を動かそうとする意欲を触発し、解放感や充実感を味わえるようにしていくことができた。大きく気持ちを崩す子や落ち着かない様子もなく楽しんで場の雰囲気や遊戯、かけっこ等それぞれの姿で参加し、楽しんでいった。	今月から新入園児や一時保育の子が増え、それぞれの生活リズムに合わせて活動等を楽しんだ。以上児が運動会の練習をしている様子を見ながら、雰囲気を感じたり時々「よーいドン」の掛け声で歩くことも楽しむことが出来た。天気の良い日は戸外へ出て外気浴や散歩を積極的に行うことが出来良かった。
自己評価を踏まえての改善点	色々な気持ちが出てきて、挑戦できずにいたり一歩進めずにいることがあった。気持ちに寄り添いながら、さりげなく援助していき、出来たことの喜びや挑戦した勇気を大いに褒め、自信や意欲に繋げていけるように活動していた所、挑戦しようとする姿が増えてきた為、これからも続けて関わっていき、色々なことに挑戦し楽しいことを多く経験して行けるようにしていきたい。	運動会遊びが始まったことや、一時預かり児も毎日登園し、保育教諭自身落ち着かない日々が続いてしまった。そこに入る保育教諭一人一人が同じ思いを持って子ども達と向き合う事の出来るよう日頃から意見交換をしよりよい保育へと繋げていきたい。	新入園児が増えた事で、お世話等が増え、今まで甘えられていた部分はその子のタイミングで甘えられなくなってしまう事が増えてしまった。焼きもちをやく事が増え、気持ちが切り替えられない事も多くなったので、一人一人の気持ちを汲み、また、こちらの気持ちも伝えながら一緒にお世話をする楽しさや、お手伝いをお願いしたりしながら、コミュニケーションを丁寧にとっていきたい。
保護者と地域への子育て支援	運動会ごっこの練習を通して、頑張ろうとしている姿取り組んでいることを帳面で伝えていく。咳・鼻水等の症状が見られる子が増えてきている為、症状を詳しく伝え家庭との連携をしていく。	自分でできたという達成感が味わえるように、着脱しやすい衣服や履きやすい靴を用意してもらえよう、個別に声を掛けながらお願いしていく。	お便り帳やクラスだよりを通じて、今頑張っていること、成長したところなどを知らせ、家庭と一緒に子どもの様子を共有していく。体調管理には十分気を付け変わった様子がある時には、伝えていく。